

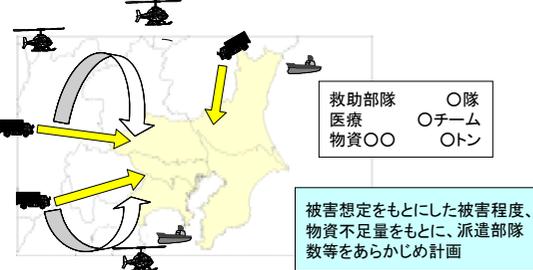
「首都直下地震応急対策活動要領」に基づく具体的な活動内容に係る計画(概要)

○被害想定等をもとに、**あらかじめ地域ごとの部隊派遣内容、物資調達内容、部隊や物資の緊急輸送ルート等を計画**

○地震発生後、被災状況等の情報がない段階から、直ちに**計画に基づき部隊派遣や医療活動、物資調達を開始**

○救助、医療等の応急対策の緊急実施。被災状況等の情報に応じ活動内容を修正

[活動のイメージ図]



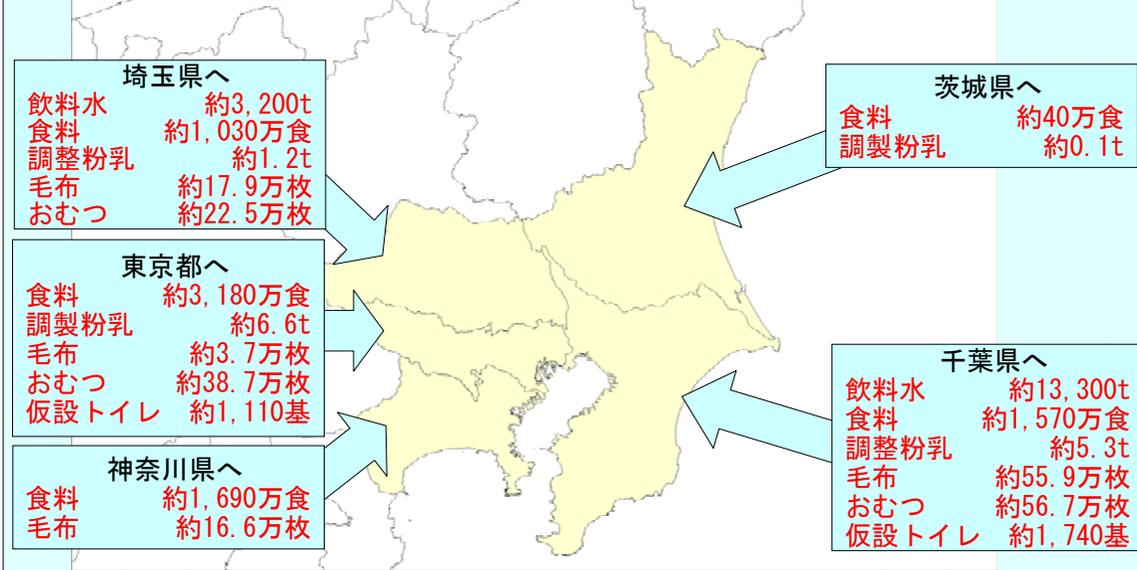
[被害想定概要]

全壊・焼失棟数	約85万棟
死者数	約1万1千人
重傷者数	約3万7千人
避難所生活者数	約460万人 (約1日後)

(冬夕方18時、風速15m/sのケース)

物資調達

※物資調達量は発災後1週間分



応援部隊の派遣

※応援部隊の派遣数は最大値

派遣規模(合計)
117,240人

埼玉県へ
警察庁 530人
消防庁 1,410人
防衛省 4,200人
合計 6,130人

東京都へ
警察庁 16,820人
消防庁 8,680人
防衛省 16,400人
合計 41,890人

神奈川県へ
警察庁 730人
消防庁 1,080人
防衛省 8,200人
合計 10,010人

全般支援 55,400人

(派遣場所を予め特定しない部隊)

千葉県へ
警察庁 1,440人
消防庁 860人
防衛省 1,500人
合計 3,800人

広域医療搬送

広域医療搬送は、関係都県内では対応が困難な重傷者でありかつ、広域後方医療施設へ搬送して治療することにより、救命が可能と判断される患者を対象とする。

※発災後8~72時間の間に搬送

搬送目標患者数
423人

相馬原駐屯地
松本空港
浜松基地
大阪国際空港
神戸空港
等



DMAT派遣数
180チーム

● : 被災地内広域搬送拠点
青字 : 医療チーム参集拠点
赤字 : 被災地外広域搬送拠点